

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
2604	大垣商業高校定時制

学校教育目標	1 知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな身体の育成		2 地域・家庭・学校の連携協力による明るく、活力ある地域社会人の育成	
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー(GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー(CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー(AP)	
	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活を送るうえで必要な基礎的な学力を身に付け、社会の一員として主体的に行動できる生徒 自分の言動が人にどのような影響を与えるかを考え、固定概念にとらわれず柔軟な発想をもって人と接することができる生徒 地元を愛し、地域の一員として働くことができる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を向上させる普通教科と、専門的な学力をつける専門教科(商業)をバランスよく配置したカリキュラムの編成と「わかる授業」の実践 少人数授業などにより、生徒の実態に合わせて学び直しを取り入れながら、基礎・基本の定着を図る学習活動の実施 全職員で全校生徒を見守り、授業だけでなく、学校行事や部活動などすべての教育活動を通して、協力・協調できる人間性の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい学校生活に意欲をもち、日々の学習や行事などに取り組むことができる生徒 「働きながら学ぶ」ことに自覚と誇りをもつ等、自己実現の意欲があり将来の目標に向かって努力できる生徒 他人に対する思いやりの気持ちをもち相手の立場を理解して物事を考え行動できる生徒 	
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標	
1 自ら学ぶ意欲と態度の育成 適切な指導計画に基づき、生徒の実態に即してわかる授業を実践し、基礎学力の向上に努め、自ら学び、考える意欲と態度を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒の特性や能力を的確に把握し、学び直しやICTを活用した創意工夫のある「分かる授業」を通して基礎学力の定着に努めます。 ②生徒一人一人の到達度に合ったきめ細かい指導を実践し、より高い知識・技能の習得を目指します。また、新設科目において興味関心を促す指導に努めます。 ③定時制ホームページの更新を実施し、学習、部活動、各種行事等について情報を発信します。また、中学校訪問や中学生対象の学校説明会を実施して、広報活動に努めます。 		<ul style="list-style-type: none"> ①授業アンケートによる評価(肯定的回答80%以上)、成績不振科目数及び授業欠課数の減少 ②検定試験合格率の向上 ③入学者選抜における出願者数の増加、高校見学会参加者数(20名以上) 	
2 望ましい人間関係の構築 生命の大切さを理解させ、基本的人権の尊重に努めるとともに、個人の尊厳を大切に望ましい人間関係の構築を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒理解に努め、年4回の教育相談活動を充実させます。 ②安全・安心な学校生活を確保するため、適時の啓発活動を行い、生命や自他を大切にできる生徒の育成に努めます。 ③保護者、中学校等外部関係機関との連携を図り、1年次生への適応指導と基本的な生活習慣の確立を目指します。また、適切な就業支援をします。 ④あらゆる教育活動の実践を通して、生徒それぞれの発達に応じた好ましい人間関係を育て、生徒の自己肯定感、自己有用感を高めます。 		<ul style="list-style-type: none"> ①SKK式クレペリンによるコミュニケーション能力評価、タブレット等活用ならびに面談による教育相談活動 ②いじめ事案・ネットトラブル・問題行動事案の減少、及び交通事故件数(0件)、 ③欠席、遅刻の減少、長期欠席の生徒の減少、適切な生活リズムを図るアルバイト等の促進 ④学校行事、生徒会行事への参加率の向上(90%以上) 	
3 望ましい勤労観・職業観の育成 働きながら学ぶ定時制高校生としての自覚と誇りをもたせるとともに、望ましい勤労観・職業観を育成し、将来において自己実現を目指す支援・指導に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ①長期的な視点に立ったキャリア教育の充実を図り、関係機関との連携・進路講話・ガイダンス等を充実させ、4年間を見据えて早い時期からの進路意識の高揚を図ります。 ②就職活動や入学試験に対する取組を系統的かつ段階的に行います。 ③教育相談や三者懇談で、生徒や保護者と課題や情報を共有し、自己実現につながる進路相談を充実させます。 		<ul style="list-style-type: none"> ①卒業生の就職先・進学先決定率増加(希望進路の達成率100%) ②就職活動、入学試験に対する取組の向上 ③生徒と保護者、学校の連携の向上(学校評価アンケートの肯定的回答80%以上) 	